

KVコントローラー 位置設定①

※パイプレスシャッターの場合、各設定変更後は必ずサンプリングが必要です。

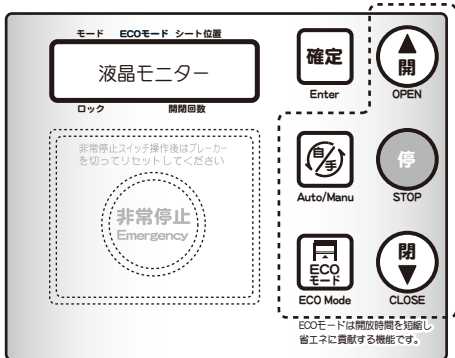
位置設定モードで行える設定と操作方法

位置設定モードでは、次の項目の設定が行えます。

- 上限・下限停止位置の設定
- ECOレベルの設定
- 光電管センサーキャンセル位置の設定

位置設定モードへの切り替え操作

運転モードから位置設定モードへの切り替えは、コントローラーの操作スイッチで行います。



コントローラー操作スイッチ

「停」を押しながら「開」+「閉」+「ECO」+「マーク」を2秒以上押す。「ピー」というアラーム音が鳴り、液晶モニターが下の表示になり位置設定モードに切り替わります。

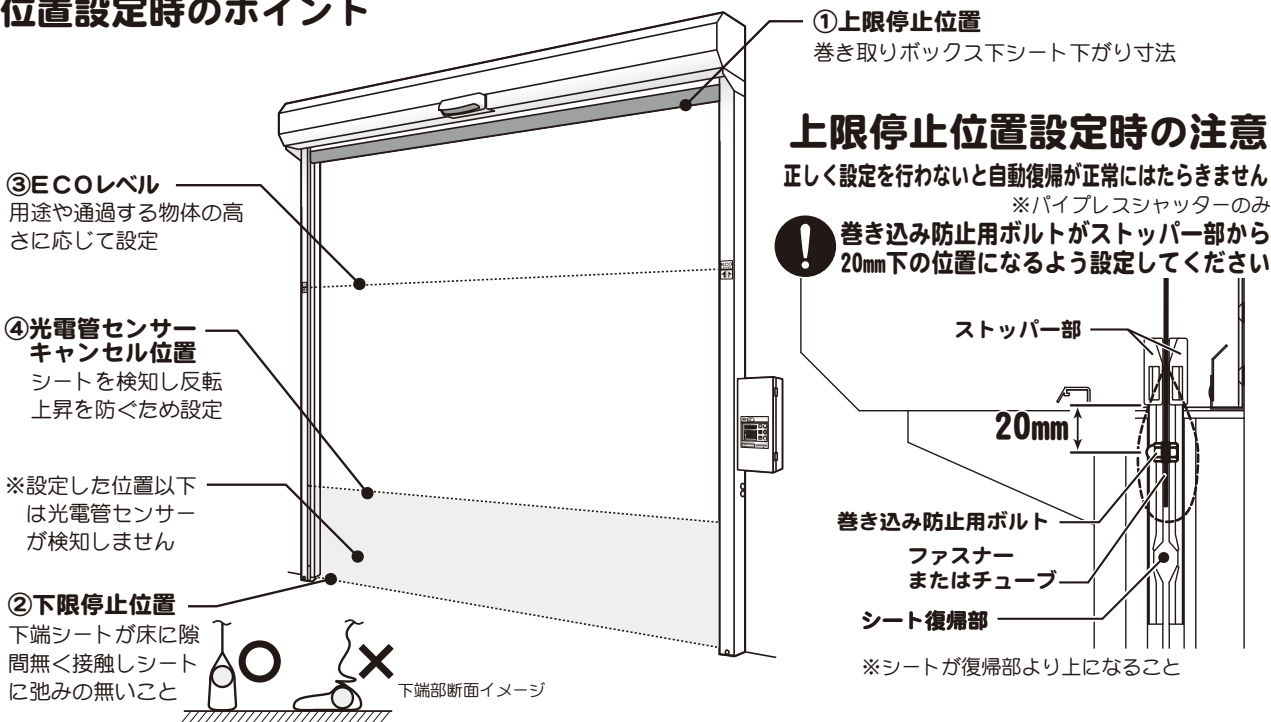
液晶モニター表示



この状態で再度同じ操作をすると運転モードに復帰します。

位置設定モードでは、「開」「閉」を押している間ゆっくり動作、手を離すとその場で停止します。3秒以上押し続けると動作速度が速くなります。(開口高の高い機体の調整に便利です)

位置設定時のポイント



！ 輸送中の振動などでシートに巻き弛みが生じる場合があります。位置設定を行う際は、閉スイッチを操作して一度巻き取りボックス内のシートをすべて引き出し、シートにシワや斜め巻きの無いよう注意し、開スイッチを押して巻き取ってください。

サンプリングとは

パイプレスシャッターの各設定変更後に通常運転時の状態をコントローラーに記憶させるモードです。液晶モニター部に「C」または「Q」が表示され、運転モードの「MANU」が点滅します。シャッターを一度開閉することでサンプリングが完了し、液晶モニターに「データセーブ」と表示します。

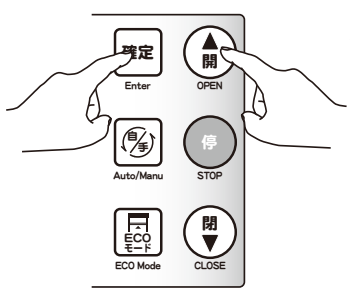
※設定が完了しサンプリングが完了したら必ず運転確認を行ってください。



KVコントローラー 位置設定②

上限・下限停止位置、ECOレベルの設定操作

① 上限停止位置の設定操作 (全開位置の設定)



上限設定したい位置で

確定 を押したまま

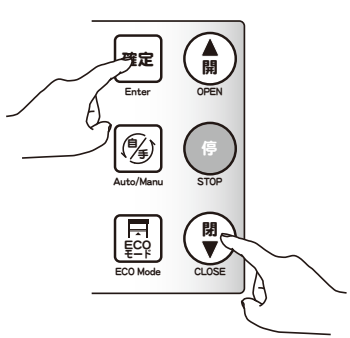
開 を押す

液晶画面の表示

P01 イチセツテイ
シヨウケケン

設定完了

② 下限停止位置の設定操作 (全閉位置の設定)



下限設定したい位置で

確定 を押したまま

閉 を押す

液晶画面の表示

P02 イチセツテイ
カケケン

設定完了

③ ECOレベルの設定操作 (ECOモードで停止する位置の設定)



ECOレベルに設定
したい位置で

確定 を押したまま

ECO
モード を押す

液晶画面の表示

P03 イチセツテイ
ECOレベル

設定完了

※ECOモードを使用しない場合は、必ず上限の位置でECOレベル設定を行ってください。

KVコントローラー 位置設定③

各種位置設定

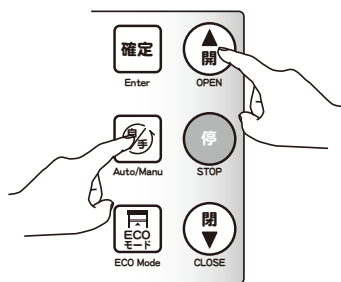
④光電管センサーキャンセル位置の設定操作 (光電管センサーの検知をキャンセルする位置を設定)

風などにより光電管センサーがシートを検知し反転する場合があります。このような場合は、設定により光電管センサーの設置高さから下の検知をキャンセルすることで反転動作を防げます。

キャンセル設定を行う際は、キャンセル設定を行いたい光電管センサーより10cm程度上の位置でシートを止め、各光電管センサー該当のキャンセル位置設定を行います。

設定を行う光電管センサーを間違えると、キャンセル機能が正しく動きません。該当のセンサー番号が不明な場合は、センサーを手で遮り検知させ、55ページの「入力チェック表示」でセンサー番号を確認のうえ設定を行なってください。

光電管センサー1キャンセル位置設定 (端子台TB1 32・33接続分)の場合



キャンセル設定
したい高さで



を押したまま



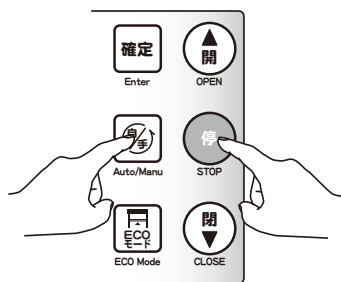
を押す

液晶画面の表示

P04 イチセツテイ
コウテンカン1

設定完了

光電管センサー2キャンセル位置設定 (端子台TB1 34・35接続分)の場合



キャンセル設定
したい高さで



を押したまま



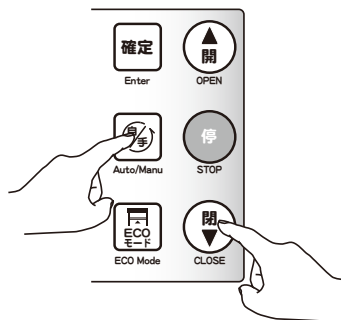
を押す

液晶画面の表示

P05 イチセツテイ
コウテンカン2

設定完了

光電管センサー3キャンセル位置設定 (PHB基板接続分)の場合



キャンセル設定
したい高さで



を押したまま



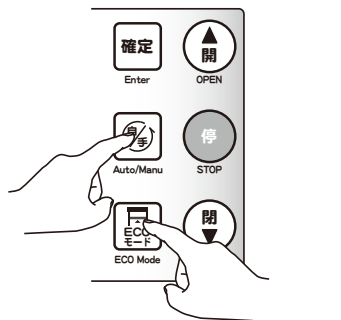
を押す

液晶画面の表示

P06 イチセツテイ
コウテンカン3

設定完了

光電管センサー4キャンセル位置設定 (PHB基板接続分)の場合



キャンセル設定
したい高さで



を押したまま



を押す

液晶画面の表示

P07 イチセツテイ
コウテンカン4

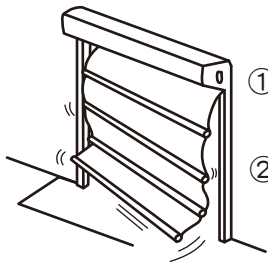
設定完了

パイプが外れた場合



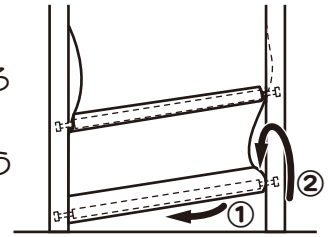
警告

台風などの強風時は門番に近づかないでください。風にあおられたシートやパイプにより思わぬ事故になる場合があります。作業の際は必ず電源を切ってください。作業中門番が動作すると思わぬ事故になる場合があります。



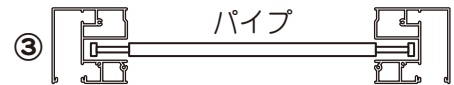
① 外れた片方のパイプをサイドフレームの奥まで入れる

② ①で入れたパイプが外れないよう押しつけながらもう一方を持ち上げ、サイドフレームに入れる。



③ 外れたパイプを入れた後、正しくサイドフレームに納まっているか確認する。

④ 電源をONし、手動モードで上昇下降動作を繰り返し正常に開閉することを確認する。



サイドフレーム断面



修復後はシートがスムーズに上下動作する場合は停止スイッチと下降スイッチを交互に押し寸動動作で下限位置まで下降させて作業してください。



警告

シート破れ・穴やパイプ折れ・曲がり・ローラー部・フレームなどに破損がある場合や、異音・動作に異常が見られる場合は、ご使用を止め速やかにお買い上げの取扱店にご連絡ください。そのまま使用すると思わぬ事故や故障につながる場合があります。

パイプがやシャフトが折れて交換が必要な場合

ご使用中の製品について不明な点や事故が生じた際は内容をお控えいただき取扱店またはメーカーへお問い合わせください。トラブルの際はその時の状況をできるだけ詳しくお教えてください。

●ご使用中の門番の型式と製造番号 型式 () 製造番号 ()

●ご使用期間 約 () 年 () ヶ月

販売店 TEL ()